

令和元年度 奈良県立教育研究所“教育セミナー2019”について（報告）

R 1 . 7 . 9

県立教育研究所

1 日時・場所

令和元年6月7日（金） 13:00～16:45 県立教育研究所

2 趣旨・テーマ

【趣旨】指導主事、指定研究員等が、本県の教育に関する課題の解決を目指して平成30年度に行った研究の成果を発表するとともに、教育関係者及び教育に関心のある人と本県教育について共に考える機会とする。

【テーマ】「次世代の教育を考える」

3 参加者数

357人

【内訳】保・幼・こども園32、小学校56、中学校34、高等学校72、特別支援学校10、大学・一般等55、県・市町村教委・他府県71、その他27

4 当日の様子



開 会 式



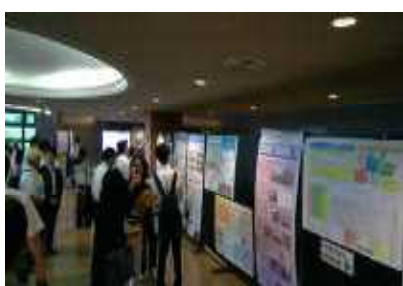
全体会（全体講演）



研究発表 1



研究発表 2



パネル展示のコーナー



教材・教具の展示

全体会では「『21世紀型授業』～子どもたちのプレゼンテーションがなぜ重要か～」と題して、関西外国語大学教授のガー・レイノルズ氏にご講演いただきました。文字を羅列するのではなく、ビジュアルで理解させることの重要性や、準備に時間をかけることの大切さを参加者に語りかけてくださいました。また、研究発表では、教育研究所が昨年度取り組んだ研究を中心に17の研究成果を発表し、中には研究で行った実践を参加者が体験できる場も提供しました。

当日のアンケートでは、全体講演会、研究発表1・2のすべてにおいて、90%の参加者から肯定的な回答が得られました。主な感想は以下のとおりです。

- 今までとは違う視点からのアプローチの仕方を教えてもらい大変参考になった。
- 紙芝居がプレゼンテーションの理想であることを知り、…教師側の（教材提示の）工夫を研修しないといけないと感じた。
- （校種が異なる）先生方と話し合う時間があり、実りある研修になりました。

本県の教育について共に考え、課題の共有を図り、解決の糸口を見いだすことができたのではないかと考えています。